

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目名	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
1 基本財産運用益	1,975	2,100	△ 125
2 事業収益	260,009,234	238,712,918	21,296,316
4 雑収益	104,716	6,949	97,767
経常収益計	260,115,925	238,721,967	21,393,958
2 経常費用			
事業費	251,204,055	236,939,124	14,264,931
給料手当	38,550,005	37,175,681	1,374,324
法定福利費	11,420,509	11,500,703	△ 80,194
臨時雇賃金	20,210,957	18,999,810	1,211,147
賞与引当金繰入額	3,655,000	3,599,000	56,000
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	491,251	527,971	△ 36,720
消耗什器備品費	1,942,830	1,791,635	151,195
消耗品費	3,764,245	2,975,075	789,170
修繕料	7,060,862	7,218,381	△ 157,519
印刷製本費	71,943	115,663	△ 43,720
燃料費	1,350,763	1,355,853	△ 5,090
光熱水費	28,471,939	29,701,338	△ 1,229,399
賃借料	11,034,131	8,627,543	2,406,588
保険料	718,898	748,070	△ 29,172
諸謝金	167,715	451,726	△ 284,011
支払手数料	857,658	556,989	300,669
原材料費	1,365,911	1,460,132	△ 94,221
租税公課	8,226,800	7,380,900	845,900
負担金	128,300	101,000	27,300
委託費	111,714,338	102,651,654	9,062,684
管理費	1,887,716	1,938,390	△ 50,674
役員報酬	702,000	695,200	6,800
給料手当	485,000	485,000	0
法定福利費	48,793	54,327	△ 5,534
旅費交通費	12,540	11,400	1,140
通信運搬費	1,010	4,000	△ 2,990
消耗品費	6,000	6,000	0
光熱水費	0	15,000	△ 15,000
支払手数料	8,783	12,457	△ 3,674
保険料	131,670	131,670	0
交際費	2,000	4,376	△ 2,376
租税公課	20,000	20,000	0
委託費	469,920	498,960	△ 29,040
経常費用計	253,091,771	238,877,514	14,214,257
当期経常増減額	7,024,154	△ 155,547	7,179,701

2 経常外増減の部			
1 経常外収益	0	0	0
2 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期経常増減額	7,024,154	△ 155,547	7,179,701
法人税等支出	150,000	153,100	△ 3,100
当期一般正味財産増減額	6,874,154	△ 308,647	7,182,801
一般正味財産期首残高	7,086,914	7,395,561	△ 308,647
一般正味財産期末残高	13,961,068	7,086,914	6,874,154
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	1,975	2,100	△ 125
一般正味財産への振替額	△ 1,975	△ 2,100	125
指定正味財産期首残高	40,000,000	40,000,000	0
指定正味財産期末残高	40,000,000	40,000,000	0
III 正味財産期末残高	53,961,068	47,086,914	6,874,154

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金：

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	40,000,000	0	0	40,000,000
合計	40,000,000	0	0	40,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(内指定正味財産 からの充当額)	(内一般正味財産か らの充当額)	(内負債に対 応する額)
基本財産 定期預金	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—
特定財産 公園内工事費用積 立資金	0	(0)	(0)	—
合計	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—

4. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,599,000	3,655,000	3,599,000	0	3,655,000
合計	3,599,000	3,655,000	3,599,000	0	3,655,000

【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

